



一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク
予期しない妊娠への相談対応研修 ～現場で役立つ知識を学ぶ～
2022年度 会場版 運営ガイド

<会場研修について>

- 本研修は、パート1：基礎編とパート2：アドバンス編があります。まずはパート1を受講することで、パート2の受講資格を得ることになります。
- 基礎編の講義内容と講師：
 - 妊娠 SOS 相談が求められる背景と現状 ～子育て世代包括支援センターの展開をふまえて～
佐藤 拓代（全妊ネット代表理事、公益社団法人母子保健推進会議会長、医師）
 - 予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応
松岡 典子（全妊ネット理事、MC サポートセンターみっくみえ代表、助産師）
 - 予期しない妊娠をした女性の背景とその支援
赤尾 さく美（全妊ネット理事、一般社団法人「アホーブ」理事、助産師）
 - 地域の社会資源：母子生活支援施設の役割と可能性（地元講師）
育てられない女性と子どもの福祉 ～特別養子縁組～
赤尾 さく美
- 研修対象は、思いがけない妊娠をして悩んでいる女性と関わる機会のある医療、保健、福祉、教育の専門職です。主催者側（自治体・団体等）の職員、所属会員のみでなく、他機関、多職種へのお声がけをしていただいて50名以上は集め、地域での周知・連携の場としてください。
※ただし、学生、一般の方は対象外です。
- 1日しっかり受講していただきたく、遅刻や早退は原則禁止でお願いします。
終了後に受講証をお渡しします。

<研修当日までの準備について>

- 開催希望の候補日を複数お知らせください。可能な限り、金曜日か土曜日でお願いします。講師陣のスケジュールを調整して決定します。
- チラシの作成をお願いします。チラシには、（一社）全国妊娠 SOS ネットワーク共催、（公財）日本財団助成と入れて、両社のロゴを使用してください。
2022年度は、日本助産実践能力推進協議会と、母子保健推進会議による後援も記載してください。
※日本助産実践能力推進協議会は、日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構で構成される協議会です。

- アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア：WHC」更新申請の WHC 研修（予期せぬ妊娠をした女性の支援：6時間）として認められますので、チラシに記載をお願いします。
知識確認テストと受講証を用意します。
<https://josan-hyoka.org/personalidentification/application-update/#whc>
- チラシ配布開始前に、内容の確認をする必要がありますので、まずデータでお送りください。
最終版を全妊ネットのホームページでも掲載し周知させていただきます。
- 研修費 10 万円を全妊ネットへ後日お振込みいただくか、当日手渡ししていただきます。
※日本財団の助成金により、10 万円（税込）のみで開催可能な研修となっております。
※参加費は主催側でご自由に設定して、参加者から徴収してください。
- 会場は、販売・飲食可能なプロジェクターとマイク完備のところをお願いします。
会場が決まり次第、講師の宿泊先を確保していきますので、会場を早めにお知らせください。
※感染予防対策の徹底をお願いします。
- 会場・設備費、周知のためのチラシ作製や郵送料、研修資料の印刷等は、主催側でご負担をお願いします。
研修資料のデータは事前に E メールでお送りしますので、人数分の印刷をお願いします。
- 当日使用する「妊娠 SOS 相談対応ガイドブック」を販売します（当日は一冊 1000 円）。
※ガイドブック代の見積書+請求書+領収書の作成や、個別の後日振込によるお支払いはお断りしています。一律 1000 円の簡易的な宛名なしの領収書を用意いたします。
- ガイドブックを事前にまとめてお送りしますので、送付先と電話番号をお知らせください。
- 開催前に関係者+参加者の最終人数と職種の内訳をお知らせください。（講義の参考のため。）
- 当日の司会進行は全妊ネットで行ないますが、受付の担当をお願いします。
- 全妊ネットの個人会員募集をしています（年会費 3000 円）。主催側の方々は、極力会員になっていただけると助かります。今後の情報交換やガイドブックの改訂版の進呈もあります。

不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク事務局

E-mail: info@zenninnet-sos.org

Web: <https://zenninnet-sos.org/>